

■□■2010年度 北海道大学大学院経済学研究科 社会経済学研究会 ■□■

【開催場所】4月22日のみ W304, 5月20日以降は W303 【時間】16:00~18:00

No.	日時	報告者・論題	討論者
1	4/22	山本崇史（博士後期課程） A.C.ピグー経済学における租税論の位置—厚生経済学の 応用という視点からの考察—	山本堅一
2	5/20	千葉学（博士後期課程） 中央銀行券への価値形態論的アプローチ	なし
3	6/24	小池一仁（博士後期課程） （仮）労働者の主体性を理論でどのように扱うか？	宮崎義久
		小林大州介（博士後期課程） 人工物進化の観点からみた技術パラダイム論と技術の社会 構成論	生垣琴絵
4	7/22	生垣琴絵（博士後期課程） （仮）1920年代アメリカの消費論～女性経済学者ヘーゼル・ カーク～	小林大州介
5	10/21	宮崎義久（博士後期課程） 歴史に見る地域通貨の経済社会的な意味—大恐慌期米国 におけるスクリップを通じて—	小林陽介
		佐々木憲介 J.S.ミルと歴史学派	松山直樹
6	11/18	三上真寛（博士後期課程） 取引費用経済学の理論的源泉—R.H.コースとO.E.ウィリア ムソンの場合—	山本崇史
		小林陽介（博士後期課程） 経済の金融化とはどういうことか	千葉学
7	12/9	橋本努 ポスト・フォーディズムの問題圏 対抗的創造性の理念	小林陽介